

郵便はがき



〒四一六〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
FaxTel. 〇五四一六四一一二二九
〇五四一六四一六二二六
ohba@enmyozan.org

宗祖降誕八百年記念事業開始

平成26年より総代世話人会で検討を重ねてきた宗祖降誕八百年記念事業を愈々実施することになりました。

檀信徒各位には、7月初旬に今までの経緯、事業説明と共に、趣意書を発送させて頂きます。ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年度初盆経のお知らせ

7月初盆のお宅は6月20日頃に

8月初盆のお宅は7月10日頃に

平成29年初盆経の日時を「御施餓鬼会案内」に同封致します。また、日時でご希望がある場合は、お早めにご連絡頂ければ、できるだけ調整させて頂きます。

アシスト募金協力者（順不同・敬称略）

- 西郷利英 高野重雄 杉山元一 高橋和子 佐藤肇 関根薫 西村幸三 小野田滋 神保昌志 蒔田貞夫 増井忠 松浦弘子 杉原繁司 杉原有 浦野慶三 海野真一 神保松夫 小林直樹 高橋秀子 黒澤昇 竹内小弥太 大塚善弘

白い三重の石塔

平成33年は日蓮聖人がお生まれになって八百年の年。この嘉辰を目指し、表面記載のように入道記念事業を開始することになった。

そこで、今号は大慶寺と日蓮聖人の関わりについて書いてみた。

日蓮聖人は貞応元年（1122年）の2月16日に、現在の千葉県鴨川市でお生まれになった。16歳で清澄寺で出家。

その後、21歳の時、京都

比叡山に遊学。その往復、藤枝の芝草（当時の地名）

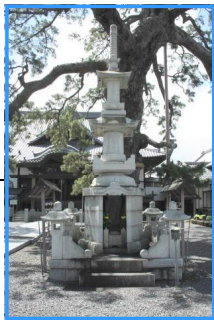
の茶店に寄り、茶店のおじいさん、おばあさんの老夫

婦を説法教化した。老夫婦は日蓮聖人に帰依し、茶店の裏に「法華堂」を作り、熱心にお題目を唱えたと伝えられる。この「法華堂」

が大慶寺の基。その時、日蓮聖人は、帰依の証に一本の松をお手植えになり、毘沙門天王

像を授与されたと伝えられている。その松が境内にある「久遠の松」。そして、毘沙門天

王は、江戸時代には4年に1回のお開帳。今



は年1回、11月3日の「お会式」の時に開帳される。

その後星霜を経て、江戸時代は大慶寺は、田中城の祈願寺、十代城主の菩提寺として大いに栄えるが、大火で2回全焼。江戸時代以前のもものは殆ど焼けて残っていないが、茶店夫婦の「お墓」は石で出来ているので現存している。

それでは、そのお墓は、今どこにあるのかとういうと、「久遠の松」の前にある白い三重の石塔の中に納められている。

当然ながら、ある疑問が湧く。「本当にこのお墓は鎌倉時代のものか？」

実を言うと、先代の時に正式な鑑定を受けた。その結果、間違いなく鎌倉時代のお墓であることが証明された。

歴史有るこの法城を更に後世に残すべく、今回「宗祖降誕八百年記念事業」を開始させて頂くことになった。日々変化を繰り返す厳しい時代であるが、偏にご協力をお願い申し上げる次第。